

3) 学生会

・工学部学生会の活動状況

2004年度に、工学部学生支援委員会の指導の下で、従来活動していた学科の学生組織を基にして、全ての学科・系に学生の自治組織である学生会が設立された。2005年度には、全学の学生委員会から出された「学生の公的組織化の要請」に基づき、各学科・系の学生会を統合した工学部学生会が組織された。この際、各学科の学生会代表が工学部学生会のメンバーとなること、および工学部学生会は、工学部(学士課程)の学生だけでなく、大学院自然科学研究科の工学系の学生も合わせて組織することとした。

2017年度の工学部学生会は各学科代表(物質生命化学科4年 八木網大君、マテリアル工学科4年 藤井郁弥君、機械システム工学科4年 城戸千裕君、社会環境工学科3年 山下大佑君、建築学科4年 大久保佑輝君、情報電気電子工学科3年 吉田隆二君、数理工学科3年 今村浩二君)で構成され、工学部全体の会長はマテリアル工学科の藤井郁弥君が務めてくれた。

各学科の学生会では、新入生歓迎会や研修会、スポーツ交流会、各種イベントなど学生の自主活動を促すための学生間交流や環境づくりが行われている。各科代表が集まる工学部学生会の会議は2号館学生支援室にて行われている。特に工学部運動会の運営については5月から毎週火曜日の昼休み時間に話し合うなど力を入れている。また、秋季に開催される工学部長との懇談会では学科代表が出て日頃学生生活や勉強環境に対しての要望を出し、工学部での改善事項となっている。さらに学長との懇談会では工学部からは代表の数名が出席し、他の学部代表学生と共に大学レベルで取り組む必要がある施設、設備や大学のシステムについての質問と要望を出し、大学改善に向けて大学と学生の間で活発な議論を展開している。

・学生会主催による復活第10回運動会

1952年10月26日に工学部グラウンドで新制大学の第1回工学部運動会が開催されて以来、熊本大学工学部運動会が開催されてきたが、年々参加者の減少は止まらず1999年の第47回運動会を最後に工学部運動会が中止された。

一方、工学部では学生の自治組織を育成するという大学の方針に従い、工学部学生会を積極的に支援してきた。運動会中止の決定の後、学生会はスポーツ大会等の企画・運営を行っていたが、2007年には運動会再開の声に後押しされる形で、全競技を一日で行う集合型のスポーツ大会を企画した。その際のスポーツ大会の参加者は200名を超えており、この種のスポーツ大会のニーズが学生の中に十分にあることが確認された。そこで学生会は先輩の運動会復活の想いを引き継ぎ、復活第1回工学部運動会を2008年10月25日(土)に開催した。

それ以来、学生会が中心となり、毎年運動会を企画・開催しており、2017年は前年の震災の影響で11月終盤に開かざるを得なくなり参加者が減った経緯を考慮して、早い時期10月14日(土)に、武夫原グラウンドにて開催を計画した。2017年は工学部120周年にあたり、式典等のイベントが開催され多くの卒業生の方々が来学されるので、その場で運動会の様子の記録映像を披露できるよう準備していたが、雨天のため中止となり、毎晩準備に遅くまで残ってくれた学生には残念な結果となった。しかしながら応援団より演舞だけは披露したいと申し出があり、小雨降る中、3団の演舞が行なわれ、撮影された。この様子は120周年記念行事の中で再生された。

・駐輪場の整理

違法駐輪の自転車が增える中、2号館の入口近くに置かれている自転車を移動させ、通行に支障ない状態に整理した。整理する立場になると違法駐輪の危険性がよくわかるとの意見があったので、学生同士で話す機会を設けるよう努力することを考案した。しかし震災復旧の工事もあり、駐輪場の位置が一部変更になったため、全体的な活動は工事が一段落してからということになった。

・

・学部長と学生代表の懇談会

仮設D棟1階 会議室Bにて 12月8日(水)18:00-20:00の2時間、学生会と工学部長との懇談会を実施した。学生側から学生会会長・藤井郁弥君、学生会副会長・山下君ほか各学科学生会代表7名、工学部側から宇佐川工学部長、富村副学部長、教務委員長、学生支援委員長、各学科学生支援委員、工学部教務担当係長の12名が参加した。

昨年に引き続き、まず懇談会実施前に学生会より提出された〈要望・提案〉に回答するかたちで懇談会が進められた。その後、参加者による質疑応答や意見発言などの自由な意見交換があった。

数理工学科の学生からは、「1. セキュリティ問題から使用できないソフトがある数理工学科のパソコン OS のアップデート」「2. 数理工学科において他学科の科目から履修する必要がある授業の休講通知の通知方法」についての改善要望が出された。これに対して学部長から、「1. に関しては予算を考慮して検討する。2. については、Moodle の掲示板を使用するよう改善する。」との返答がなされた。次に「24時間利用できる学習スペースが欲しい。」との要望が学生から出された。これに対して学部長からは、「夜間自由に出入りできるスペースの確保はセキュリティ上認められない。帰宅して勉強することもできるはず。」との回答であった。

その他、学生から「FORICO の WiFi 環境を整備して欲しい。」「2号館前の駐輪スペースが欲しい。」「各学科の研究棟に自動販売機が欲しい。」「空調の調子が悪い。」「廊下が暗い。」「コンビニ・カフェが欲しい。」「トイレにウォシュレットが欲しい。」「コピー機を USB 対応にして欲しい。」の予算を必要とする要望もあった。

教育に関係する要望としては、研究室配属に関するものがあり、教員側と学生の意見交換による理解が求められた。

最後に副学部長より、年に一度のこの懇談会をセレモニーとして 1 回で終わらせないで、学生と教職員が一緒になって解決していかなければならない課題について、これからも意見交換をしながら意思の疎通を図っていききたいとの話があった。